

# 相産だより

誠実 創造 努力



## 防災避難訓練

10月22日（水）5校時～6校時、防災避難訓練が行われました。火災、地震発生時に迅速かつ安全に避難するため、避難経路や非常口の位置の確認および初期消火の方法を習得することが目的です。また実際に避難させることでマニュアルの適正化を図ります。火元を職員室と仮定した避難誘導を行い、各学年とも校庭に避難する設定としていましたが、雨天のため急遽、避難先を体育館に変更して行いました。また水消火器を使用した消火訓練も行いました。



避難訓練終了後、防災講話を受講しました。講師は、昨年も講義をしていただいた、高石幸子先生です。先生は防災士の資格を所持され、ひょうご防災特別推進委員、ひょうご防災リーダーとして各方面で活躍されています。また、上郡町の地域リーダー会の会長、および実行部隊として、災害救援活動に尽力されています。今回、これまでの災害で直面した課題などを踏まえた「防災ワークショップ」として実施し、生徒が災害現場での当事者として、どのように発言し、行動するのかを話し合う機会も設けていただきました。私たちが防災に備える重要な事は、「自分の命は自分で守る」ということです。一人ひとりが自分の尊い命を責任もって守ることが、周りの人全ての幸せにつながります。自然災害はいつ起こるか予測は難しいですが、私たちは自然の中で生かされているからこそ、知識と知恵を駆使し、防備していくことが大切です。



### ～防災講話を聴いて 生徒感想文（抜粋）～

- ・防災講演会で、災害のための備えなど、多くのことを学ぶことができました。改めて家族会議をすることの大切さに気付くことができました。早速、家族との連絡法の確認、避難場所や集合場所の確認、備蓄品や非常用持ち出し袋などの防災グッズの確認を行おうと思いました。「備えは自分と家族を守る第一歩です」という言葉が印象に残りました。また、ローリングストック法も実際にやってみたいと思いました。そして、高石先生がお勧めされていた、羊羹とみかんの缶詰を備蓄品に追加しようと思います。
- ・非常事態が起きた時、生き抜くためには、冷静になること、正しい情報を得ておくこと、どう行動するかを知っておくこと、備えをしっかりすることを学びました。備えておきたい防災、減災の7つ道具は、水・簡易トイレ・手回し充電ラジオ・ソーラー付き充電器・保湿アルミシート・食品用ラップ・ウエットティッシュであり、水は、一人3L×3日分をストックするのが良いとわかりました。また黒い袋はいろいろな用途に使えるので必要だと思いました。
- ・これからは家でも、家族と非常食を見直したり、避難場所や電話番号を確認して、日頃から防災意識を高めていきたいと思います。今回の講演を聴かせていただき、日常の小さな準備が自分や家族の命を守ることにつながることを学びました。
- ・非常用持ち出し袋の準備や、耐震工事をすることは知っていましたが、森林にも防災の役目があり、例えば、地滑りや山崩れ、土石流の発生を、森林が一部軽減する役目をもあると知って驚きました。